

クラス番号	620	担当教員名	奥田 亜由子
テーマ	高齢者福祉分野におけるソーシャルワークとケアマネジメント		
著書・論文 研究課題等	「高齢者虐待防止研究」『男性による高齢者虐待；なぜ虐待するのか』高齢者虐待防止学会 2010 年 「ケアマネジメントの実務」共著 新日本法規、「施設ケアプラン事例集」共著 日総研 2011 年 「サービス担当者会議マニュアル」共著 中央法規 2012、「多職種連携の技術」共著 2014 中央法規 研究課題 ①介護支援専門員の人材育成、OJTとOFFJTの研究 ②スーパーバイザー養成の研究、③支援困難事例と事例検討会・地域ケア会議への展開の実践		

ゼミナール概要

キーワード：ケアマネジメント、高齢者福祉、ソーシャルワーク、家族支援

目的、内容、方法等：日本の地域福祉の流れの中で、初めてケアマネジメントが位置づけられたのが、1990 年から始まった在宅介護支援センターの相談事業の中である。ソーシャルワーカーとして初めて国家資格である社会福祉士の設置がされ、新たなソーシャルワーカーの役割を実践することが日本各地で行われた。その流れが、2000 年開始の介護保険制度のケアマネジャー（介護支援専門員）の基礎となったと考えられる。

現在、介護支援専門員がケアマネジメントを担っている代表の職種と認知されてきている。それぞれの国家資格等の実務経験 5 年以上が必要であるが、ペーパー試験と実務研修のみで実務につき、ケアマネジメントに必要な教育が体系的に受けられていないことが実践におけるケアマネジャーの質に影響を及ぼしているのが現状である。さらに地域包括支援センターに配置されている主任介護支援専門員（ケアマネジャー実務経験 5 年以上かつ研修修了者）の質につながり、人材育成であるスーパービジョンが難しくなっている状況がある。

このゼミでは、学生のうちに、地域での生活を支えるケアマネジメントの知識と技術を身につけ、社会福祉士を取得し、ソーシャルワーカーとしてケアマネジメントを実践できる専門職になることを目指す。

授業計画：使用テキスト「ケアマネジメント原論」岡田進一著 株式会社ワールドプランニング

1. 3 年前期は、大学に入学した動機や大学で学べた内容、将来に向けての自分の学習課題をゼミの中でまとめ、テキストを中心にケアマネジメントについての知識を学んでいく。実習で実践する個別支援計画・ケアプラン作成方法などの事前学習も実施し、実習での自分の学ぶべき内容を明らかにし、ゼミとリンクさせる。
2. 3 年後期は、実習体験を踏まえ、そこでの気づきも参考にし、卒業論文のテーマを整理し、文献・論文を収集する。春休み中には、高齢者施設等への視察、現場の人との合同研修に参加する機会を持つ。
3. 4 年前期は、卒業論文のテーマについて、調査研究を実施し、論文を作成していく。高齢者福祉施設や事業所、ケアマネジャーのいる現場へ個々に出向いてヒアリングや同行体験をする。夏休みは、ゼミ合宿をし、卒業論文と国家試験対策を行う。
4. 4 年後期は、卒業論文をゼミでまとめられるようにするとともに、社会福祉士の国家資格の勉強にもあてていく。ゼミの中で、社会福祉士、または介護支援専門員資格取得に必要な知識の勉強会を開催する。

担当教員からのメッセージ



将来、地域連携ができるMSW、高齢者ケアの現場、ケアマネジャー、地域包括支援センターの社会福祉士、社会福祉協議会、行政職など、地域生活を支援する職種を希望する方は、ぜひ、奥田ゼミで共に学びましょう。それぞれの個性や主体性を生かして、卒業する頃には、自信を持って、社会福祉士として社会に出ていくことができるように支援していきます。就職についての進路相談にも個別に応じます。ゼミの仲間を大事にし、コンパや合宿を自分たちで企画し、楽しい学生生活にしていきましょう。コミュニケーション力、質問力、ディスカッション能力、プレゼンテーション能力を高めていきましょう。休まずにゼミに出席すること、積極的に学ぶ姿勢を持つことと、決めたことは実行する責任感のある学生を求めます。